令和8年度　里山探検隊〔根尾コース〕開催！

国土交通省　越美 ETSUMI SABO

『里山探検隊』は、揖斐川・根尾川上流域で発生した災害の歴史や、これまでに実施している防災対策事業をとおして砂防事業の目的や効果、災害への備えについて学習する場として活動するものです。

Ⅰ 概　要

日　　時 ： 令和8年11月4日(水)12:30～17:10

見学箇所 ： ① 蛇抜谷(じゃぬけたに)第1砂防堰堤工事現場、② ガラン谷第1砂防堰堤、③ 鷲巣(わしず)谷(たに)第1砂防堰堤及び鷲巣(わしず)堰堤、④ 根尾谷断層、⑤ 宇津志(うつした)谷(たに)第1砂防堰堤

参　加　者 ： 9組14名、職員7名、越美山系砂防ボランティア協会3名


砂防の座学後、現場へ

ダイナミックSABOプロジェクト（見る・学ぶ・体験する）

Ⅱ見学の様子


じゃぬけたに
①蛇抜谷第1砂防堰堤工事現場


わしずたに
③鷲巣谷第1砂防堰堤

わしず
鷲巣堰堤



④根尾谷断層


②ガラン谷第1砂防堰堤


探検隊隊員


うつしたに
⑤宇津志谷第1砂防堰堤

Ⅲ参加者の感想

・砂防堰堤は、山の中に隠れており目に付きにくいが、生活に欠かせない存在だと思いました。
・普段の生活のなかで見落とすこともあるが、いろいろな場所にあり、守られていることが分かった。
・砂防カードを知るまで、砂防とは、水を貯めるダムに対して、砂を貯めるだけのものだと思っていました。
・砂防の重要性を感じた。
・この様な学習型イベントは、子供向けや子供のみ参加だったりするが、大人も楽しめ参加できる学習イベントは、とても良い取り組みだと思った。